

令和五年 安全大会 開催

令和5年6月22日(木)川越プリンスホテルにおいて、「株式会社 電成社 令和五年 安全大会」を実施しました。当日は弊社社員と協力業者様をあわせて、116名が参加しました。

冒頭、山口社長より、当安全大会が日々の労働安全衛生について考えるきっかけとなり、7月から始まる「全国安全週間」に向けて意識を高めてほしい、と、ご挨拶されました。

萩原安全委員長からは、労働災害発生状況、熱中症とコロナ対策(マスク)との関連性、当社の交通事故、現場事故発生状況等、述べられました。その中でも特に交通事故防止については、車間の確保、周囲を見渡す心の余裕をもつこと、また現場事故については、他人事と考えない、慢心しない、緊張感をもって仕事に臨むことを強調されました。

次いで今回ご臨席賜りました川越警察署交通課長 加藤警視より、埼玉県内の交通事故発生状況、および傾向等分かりやすく説明していただきました。「1秒間に自動車の進む距離は30km/hの時に約8m、40km/hの時は約11mであるため、危険を察知しブレーキを踏むまでの時間が1秒から0.5秒に変われば、大幅に交通事故を減らすことができる」という具体的数値を示しながらの講演は特に参加者の興味を惹きつけておりました。



安全委員会からは、活動実施報告および転倒・墜落事故防止の注意喚起として、脚立の使用方法について発表を行いました。

また、7名の社員が永年勤続表彰を、そして顕著な成果を遂げた社員に対して特別表彰が行われました。

さらに、令和5年度入社の新入社員紹介が行われました。

続いて基本方針と安全衛生管理目標が発表され、参加者の安全に対する意識を高めました。

基本指針： 高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災職場

安全衛生管理目標： 「漏電・転落災害“0”を達成する」

「働き方改革を推進し、長時間労働を抑制する」

終了後、交通事故防止のため安全運転について皆で話し合ってみよう、との声が聞かれました。

